

令和6年度 木材利用推進コンクール 受賞施設等の概要

木材利用推進中央協議会

【優良施設部門】

- 〈内閣総理大臣賞〉 野村不動産溜池山王ビル（東京都）
〈農林水産大臣賞〉 立野交流施設（立野駅）（熊本県）
〈文部科学大臣賞〉 松田町立松田小学校（神奈川県）
〈国土交通大臣賞〉 株式会社AQ Group本社屋（埼玉県）
〈環境大臣賞〉 石川県森林公園屋内木育施設
 もりのひみつきち（石川県）
〈林野庁長官賞〉 ・ ウッドライズ仙台（宮城県）
 ・ Toyota Technical Center Shimoyama
 車両開発棟・来客棟（愛知県）
 ・ 青井の杜 国宝記念館（熊本県）

- 〈木材利用推進中央協議会会長賞〉
・ 北海道地区FMセンター（北海道）
・ 身延町立身延中学校（山梨県）
・ 四万十市総合文化センター しまんとぴあ（高知県）

〈審査委員会特別賞〉
・ 蒜山そばの館（岡山県）
・ 津山信用金庫二宮支店（岡山県）
・ enefil吉野（鹿児島県）

【国産材利用推進部門】

- 〈農林水産大臣賞〉 大東建託株式会社（東京都）
〈林野庁長官賞〉 ・ 日本生命保険相互会社（東京都）
 ・ ナイス株式会社（神奈川県）

- 〈木材利用推進中央協議会会長賞〉
・ 秋田プライウッド株式会社（秋田県）
・ ニチハ株式会社（愛知県）
・ 院庄林業株式会社（岡山県）

【優良施設部門】 〈優秀賞〉

- ① 楽 水山（北海道）
- ② 呼吸の間（北海道）
- ③ こども本の森 遠野（岩手県）
- ④ 大林組仙台梅田寮（宮城県）
- ⑤ にしかわイノベーションハブTRAS（山形県）
- ⑥ TDテラス宇都宮（栃木県）
- ⑦ Hair room TOARU（埼玉県）
- ⑧ 柏ウッドテラス（千葉県）
- ⑨ 江北小路（東京都）
- ⑩ nonowa国立SOUTH（東京都）
- ⑪ 豊洲 千客万来（東京都）
- ⑫ 温故創新の森NOVARE（東京都）
- ⑬ 氷見市しんまちこども園（富山県）
- ⑭ 池田町道のオアシス フォーシーズン テラス センタハウス
（福井県）
- ⑮ さくら国際高等学校（長野県）
- ⑯ 第2名古屋三交ビル（愛知県）
- ⑰ カゴメビル（愛知県）
- ⑱ とこはぐ大府（愛知県）
- ⑲ Toyota Technical Center Shimoyama 環境学習センター
（愛知県）
- ⑳ 尾鷲市役所本庁舎（三重県）
- ㉑ 三重県立特別支援学校寄宿舎（三重県）
- ㉒ みなくるプラザ(水口西部コミュニティセンター)（滋賀県）
- ㉓ 守山市立北部図書館・遠野会館（滋賀県）
- ㉔ 伊勢遺跡史跡公園遺構展示施設（滋賀県）
- ㉕ 京都信用保証協会中丹支所整備事業（京都府）
- ㉖ まちなかりビング北千里（大阪府）
- ㉗ 兵庫県立総合射撃場
（愛称：ハンターズフィールド三木）管理棟（兵庫県）
- ㉘ 国際鯨類施設（和歌山県）
- ㉙ 道の駅ごいせ仁摩（島根県）
- ㉚ ハレミライ千日前（岡山県）
- ㉛ 廣榮堂中納言本店（岡山県）
- ㉜ 海田町庁舎（広島県）
- ㉝ 広島銀行十日市支店（広島県）
- ㉞ 株式会社ウエストフードプランニング本社社屋（香川県）
- ㉟ 川之江港湾運送本社社屋（愛媛県）
- ㊱ 嘉麻市立稲築東義務教育学校（福岡県）
- ㊲ セブン－イレブン福岡ももち店（福岡県）
- ㊳ 無印良品 唐津店舗（佐賀県）
- ㊴ 山都町総合体育館パスレル（熊本県）
- ㊵ レジデンスハウス益城A（熊本県）
- ㊶ 阿蘇くまもと空港旅客ターミナルビル（熊本県）
- ㊷ 熊本地震震災ミュージアム KIOKU（熊本県）
- ㊸ ひなた宮崎県総合運動公園『屋内走路』（宮崎県）

内閣総理大臣賞

〈優良施設部門〉

野村不動産溜池山王ビル（東京都港区）



【施設概要】

使用する木材について計画初期段階からBIMを活用した木材使用量の見える化などにより、ほぼ全ての木材を国産材により調達。都心における高層木質建築物の実現に求められる高い耐火性・耐震性に対して、2時間耐火認定の木質耐火構造部材（柱・梁）の開発など、木質ハイブリッド技術の深化・発展を通じて合理的に解決を図った。

外装面にグリッド状に配列した木質耐火構造部材の柱・梁、南北の外部環境を最大限採り込む21m×18mの開放的な木質無柱空間などにより、都心のオフィス街において木質建築として特徴のある外観の創出、ワーカーの知的生産性への寄与など実現し、中高層オフィスの木質化事例としての貢献が期待される。



施主	野村不動産株式会社
設計	清水建設株式会社
施工	清水建設株式会社
主要構造	木造、木造ラーメン構造、鉄骨造
延床面積	5,594.97㎡
主な使用樹種	スギ、カラマツ

農林水産大臣賞

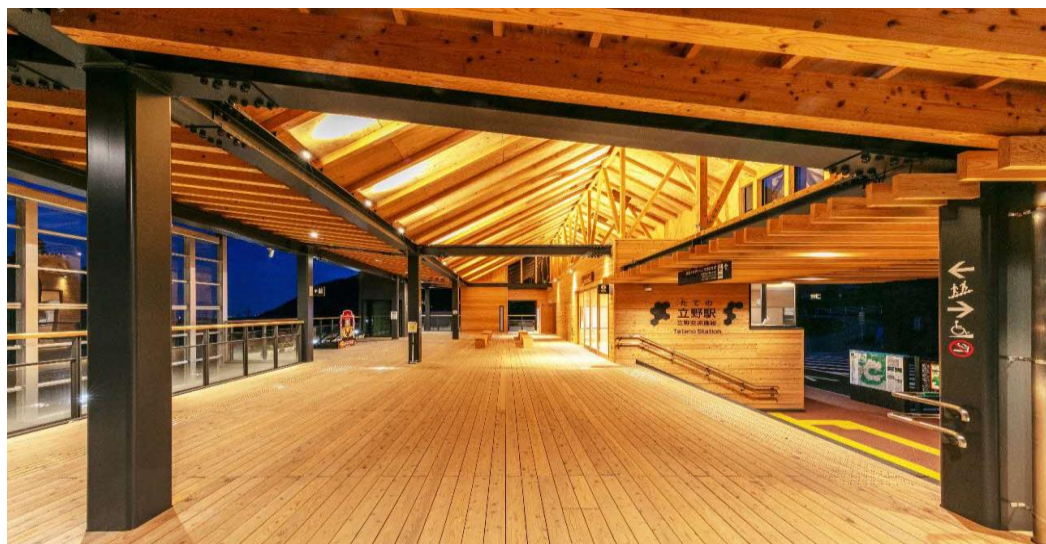
たての

立野交流施設（立野駅）

たての

（熊本県阿蘇郡南阿蘇村）

〈優良施設部門〉



【施設概要】

設計着手時点から熊本県木造設計アドバイザーとの地域材調達についての相談、地域のプレカット事業者との調達や加工についての相談を行い、屋根・小規模施設（トイレや駅本屋）の木造化、内外装・家具などの木質化を徹底して、木材使用量のほぼ8割に熊本県産材を始めとする地域産材を活用した。

大屋根の登り梁に一般流通製材のサイズ内の大径材を活用し、鉄骨主体構造の上に木造小屋組が効率よく架構する構造により、集成材を使わず大径材の製材と地域の施工技術のみでの施工を実現した。

主体構造が木造以外でのあたたかみのある空間の創出は、地域の駅舎などでの普及が期待される。

施主	南阿蘇村
設計	株式会社ジメント
施工	吉永・橋本特定建設工事共同企業体
主要構造	木造軸組工法、木造（混構造）、鉄骨造
延床面積	445.71m ²
主な使用樹種	スギ、ヒノキ

文部科学大臣賞

〈優良施設部門〉

まつ だ まつ だ 松田町立松田小学校（あし がら かみ ぐん まつ だ まち 神奈川県足柄上郡松田町）



【施設概要】

平成27年の改正建築基準法に準拠する1時間準耐火構造で、設計時点では国内3例目、完成時点で国内4例目となる木3学である。中央にあるRCコア棟(法的な壁等)をはさんで、両側に木造校舎を配置することで延焼防止を実現している。

町内の学校林から伐採されたヒノキ材30m³を教室のフローリング材など内装材へ活用しているほか、昇降口前でのCLTのつづら折りを梁にした大庇など適所に木材を使用し、木造3階建て学校の標準型として全国への普及が期待される。



施主	松田町
設計	前田建設工業・計画・環境建築・類設計室・ 関野 建設設計・建設工事共同企業体
施工	前田建設工業・関野建設 建設工事共同企業体
主要構造	木造軸組工法
延床面積	6,379.78m ²
主な使用樹種	ヒノキ、カラマツ

国土交通大臣賞

〈優良施設部門〉

株式会社AQ Group本社屋（埼玉県さいたま市）



【施設概要】

地上8階建ての耐火建築物を、特殊な金物を使わない耐震構造の木造で実現。地域のゼネコンでも施工可能な多層耐火純木造の普及型モデルを目指したものであり、材積が大きい構造材を全て木材で構成している。

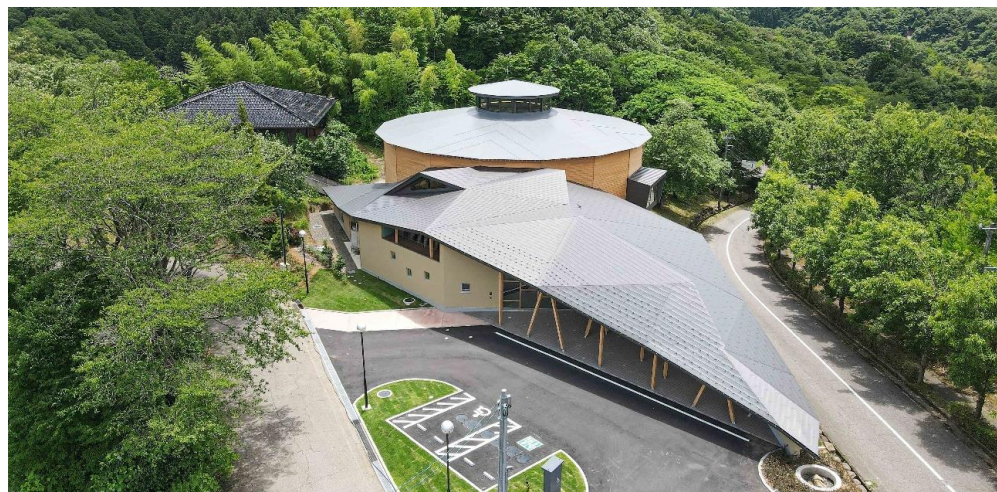
新たに開発した「格子耐力壁」、「相欠き合わせ柱式ラーメン」、「高倍率合板耐力壁」、「小ラーメン」は他建築にも流用可能であり、材積のある構造体の現しや外部からも木造であることがわかる木造らしさのアピールは、森林資源の有効活用・高付加価値化にも寄与している。



施主	株式会社AQ Group
設計	有限会社 野沢正光建築工房
施工	田中工務店・伊佐建設特定共同企業体
主要構造	木造軸組工法
延床面積	6,076.52㎡
主な使用樹種	カラマツ、ヒノキ

環境大臣賞

石川県森林公園屋内木育施設



〈優良施設部門〉

かわ きた ぐん つ ばた まち

もりのひみつきち（石川県川北郡津幡町）

【施設概要】

木育ホールの屋根を支える大梁は、150×800～1000のスギ集成材による放射状レシプロカル構造とし、支えあうことで内法巾13間の大空間を形成している。木育がテーマの施設であるため、このほか二重筒状耐力壁面、有機的な多角形屋根など、親子に木の持つ建築の楽しさを伝えるために様々な構造表現を採用している。

エネルギー消費性能について基準一次消費量2205.9GJ/年に対し、設計一次消費量を844.6 GJ/年（BEI＝0.39）に抑えた設計とした。全体木材利用量の93％は石川県産材・敷地産材が占めているほか、構造用集成材のラミナ、内外部仕上材の製材・乾燥、集成材の製造・加工も地元で行い地産地消を実現し、輸送時の炭素排出低減を行っている。

施主	石川県
設計	株式会社 金沢計画研究所
施工	豊蔵・サンエキ特定建設工事共同企業体
主要構造	木造軸組工法
延床面積	992.96㎡
主な使用樹種	スギ、ヒバ

林野庁長官賞

〈優良施設部門〉

ウッドライズ仙台（宮城県仙台市）



【施設概要】

不動産ファンドがESG投資として木造建築に取り組んだ地上10階の中高層木造プロジェクト。

木材調達において「東北地方における地産地消」をキーワードに、岩手県の森林経営業者と伐採の8か月前から協議を行い、新たに安定的な原木供給体制を構築して、岩手県産カラマツの耐火集成材の製造を可能にした。

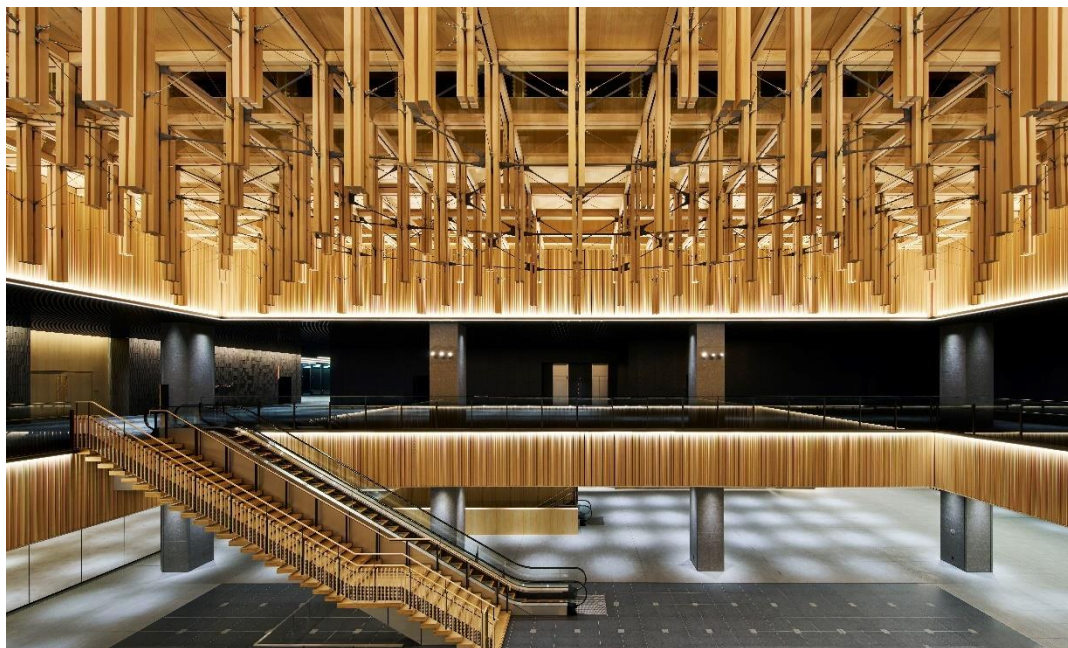
大通りに面した部分に限定して耐火木造の柱梁を効果的に配置し、木造の周囲を内外回遊できるように共有部を設けた。働く人にとって木造木質の共有部空間が心を和らげ、街を歩く生活者に木の建物が出来たことを印象付け、不動産ファンド市場に対する都市耐火木造の非住宅建築取組みの選択肢を広げた。

施主	合同会社ウッドライズキャピタル
設計	株式会社竹中工務店
施工	株式会社竹中工務店
主要構造	木造軸組構法・鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造・CFT造
延床面積	10,188.91㎡
主な使用樹種	カラマツ、スギ

林野庁長官賞

〈優良施設部門〉

Toyota Technical Center Shimoyama 車両開発棟・来客棟（愛知県豊田市）



【施設概要】

地元、豊田市の森林面積の約半分が人工林を占める中、人工林の約3分の2が過密状態にある”間伐手遅れ林”と推測されている。豊田森林組合との連携により安定的な原木供給体制を構築し、建材として疑問のある間伐材にも機能を持たせ、積極的に用いることで将来の森づくりへの貢献を目指した。

具体的には、車両展示空間において、展示空間上部で建物全体の自然換気を促すハイサイドライトの架構を“細く・短い”間伐材を4本束ねた「束(たば)ね束(つか)立て張弦梁」構造で構成させた。

また、ホール空間において、音を“吸音”ではなく“拡散”させることでフラッターエコーを解消する木製の「音響拡散壁」により、良質な音環境を創出した。

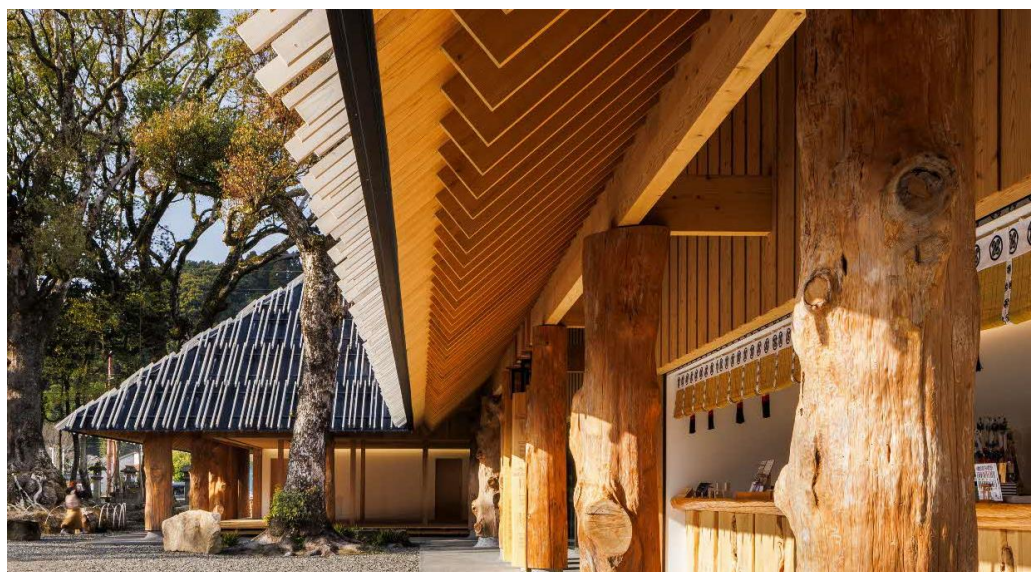
施主	トヨタ自動車株式会社
設計	株式会社竹中工務店
施工	株式会社竹中工務店
主要構造	鉄骨造
延床面積	73,808.71㎡
主な使用樹種	ヒノキ

林野庁長官賞

あお い もり

青井の杜国宝記念館（熊本県人吉市）

〈優良施設部門〉



【施設概要】

発注者からの出来る限り人吉球磨産材を使用して欲しいとの強い要望もあり、計画段階から設計、木材調達、製材、施工にいたるまで、維持管理担当、製材業者、地元の施工者、設計者と発注者までが協働できる体制を構築し、使用木材の約98%が地域産材となった。

不燃処理の木ルーバーを葺いた急勾配の屋根、ほぼ無加工の原木の丸太柱（樹齢400年の狭野杉）を外周に11本並べた軒下空間、樹齢800年の市房千年杉を柱に用いた大広間など、力強く大胆な木材利用は、来館者を惹きつけてやまない。

施主	青井阿蘇神社
設計	株式会社 隈研吾建築都市設計事務所
施工	岩井・速永・宮原 建設工事共同企業体
主要構造	木造軸組構法
延床面積	904.68㎡
主な使用樹種	スギ、ヒノキ

木材利用推進中央協議会会長賞

〈優良施設部門〉

北海道地区FMセンター（北海道札幌市）



【施設概要】

本建物に採用した木材全てを道産材とし、一般的な道内工場
で製材・加工可能サイズ以下まで部材断面を整理して、伐採、
製材、加工、運搬、建設までの工程を全て道内で完結させた。
これにより木造化によるCO₂削減効果だけでなく、運搬等で
発生するCO₂の発生量を極力抑えることにつなげた。

本作品のために開発・適用したダブルティンバー工法は、二
重柱・二列梁・二段梁の組合せにより荷重分散を図り個材の
小断面化を可能とし、一般流通材での4.5m×3.6mの-span使用、
北海道内の地域材利用に貢献している。

施主	株式会社竹中工務店
設計	株式会社竹中工務店
施工	株式会社竹中工務店
主要構造	木造軸組構法
延床面積	856.46㎡
主な使用樹種	カラマツ、トドマツ

木材利用推進中央協議会会長賞

〈優良施設部門〉

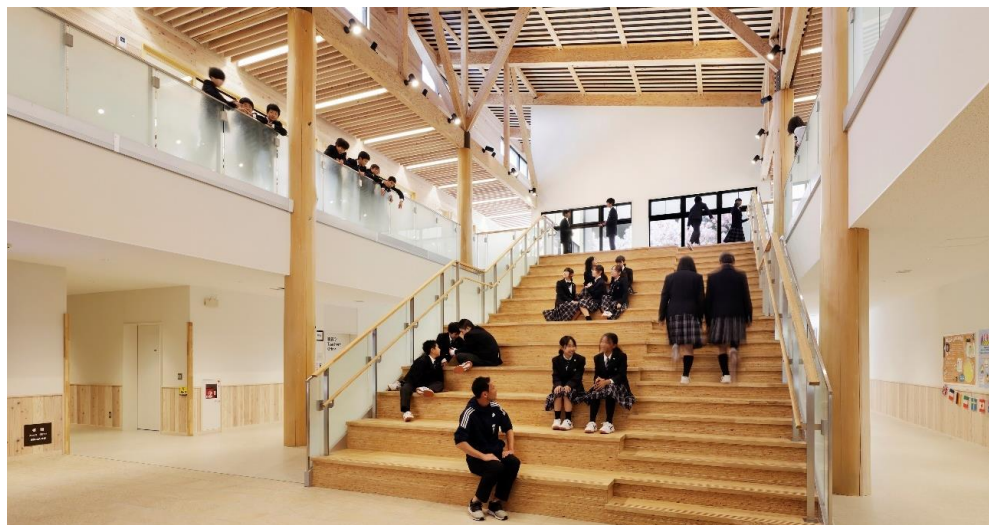
身延町立身延中学校（山梨南巨摩郡身延町）



【施設概要】

山梨県、身延町、身延町教育委員会、一般社団法人山梨県木材協会4者にて木材利用促進協定を締結。新校舎建設における安定的な原木供給体制など構築し、使用木材1,872m³の100%を地域産材によりまかった。

木造4棟を鉄筋RC造の耐火コア3棟で区画した1時間準耐火建築物。木造軸組材は石膏ボードで被覆したメンブレン型耐火構造を主体とし、「木の香ホール」や図書室等、学校のシンボルとなる空間は、燃えしろ設計として木材を現しで使用した。端材の木材チップ活用など、木材を余すことなく使うことにも気を配った。



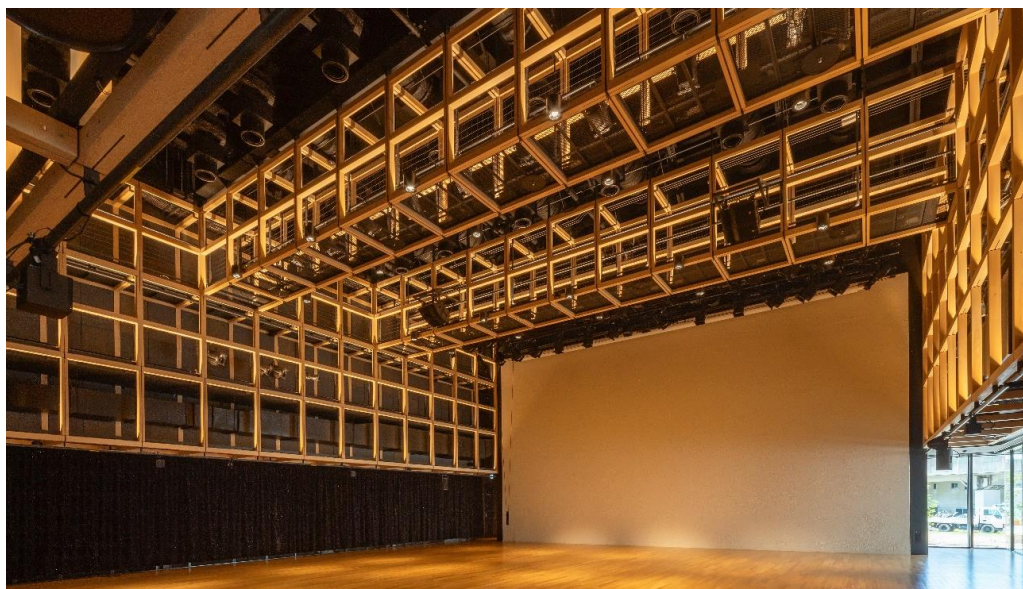
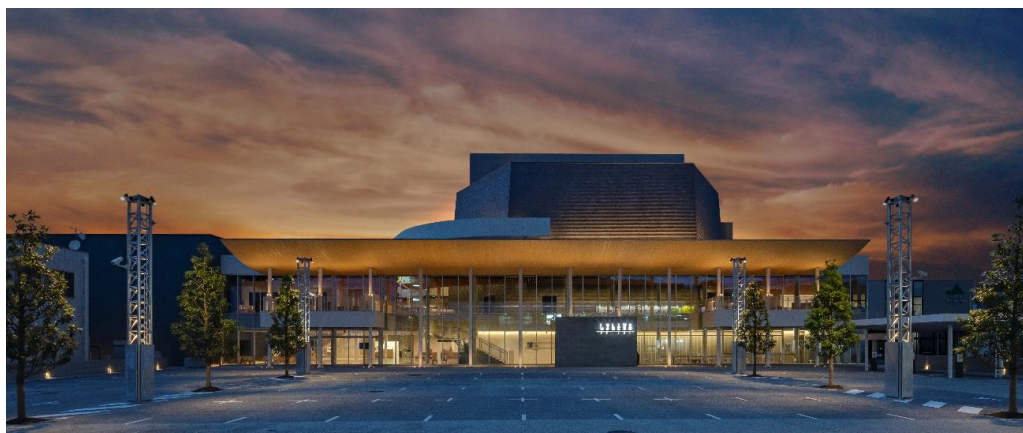
施主	身延町
設計	株式会社馬場設計
施工	早野組・長田組土木・三井建設工業身延中学校新校舎建設工事共同企業体
主要構造	木造軸組工法、鉄筋コンクリート造
延床面積	5,942.06m ²
主な使用樹種	スギ、ヒノキ、カラマツ

木材利用推進中央協議会会長賞

〈優良施設部門〉

しまんとし 四万十市総合文化センター

しまんとぴあ（高知県四万十市）



【施設概要】

市有林の四万十ヒノキを活用、確実な木材調達を実現するため、伐採～一次加工までを分離発注とし、一次加工材を建設工事施工者に支給するスキームとした。基本設計時点で安定供給が可能な断面寸法・材積を把握し、実施設計時点で詳細数量を把握して発注を行っている。

来館者を出迎えるメインファサードの四万十ヒノキ大庇、小ホールでの小径木の格子によるキャットウォーク構成、交流ロビーでの木ルーバーによる四万十ヒノキの流れなど、効果的なポイントに的確に木材を利用している。

施主	四万十市
設計	東畑建築事務所・鳥設計共同企業体
施工	竹中工務店・サイバラ建設特定建設工事共同企業体
主要構造	鉄骨造、鉄筋コンクリート造、 鉄骨鉄筋コンクリート造
延床面積	6,966.09㎡
主な使用樹種	ヒノキ、スギ

審査委員会特別賞

蒜山そばの館（岡山県真庭市）

〈優良施設部門〉

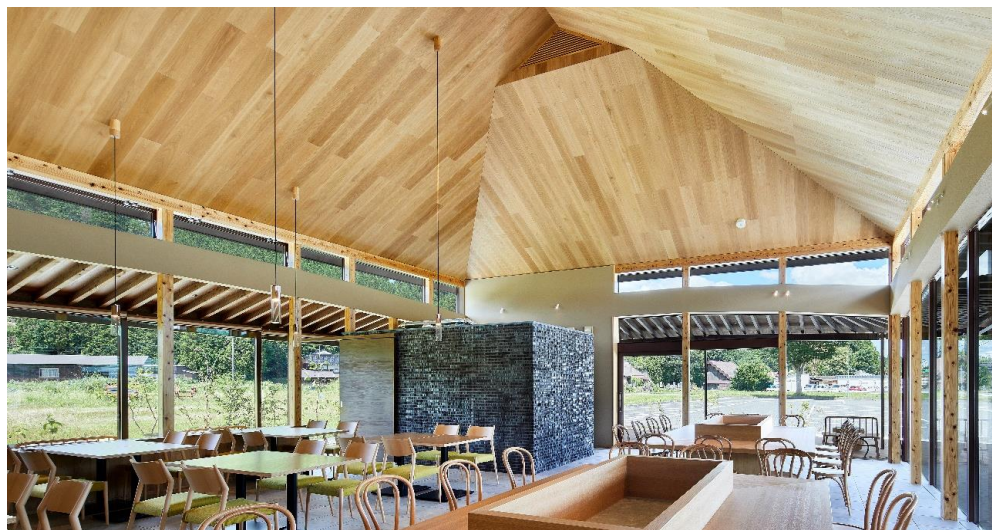
【施設概要】

真庭市内の産業であるCLTを利用し、真庭市蒜山地域の伝統的な入母屋造りを地場の木材によるCLTで実現、構造材の全てを真庭市産材とした。

積雪高さ140 c mの多雪地において、客席部分の梁間9.1m×桁行12.74mの大屋根をCLTパネル（厚さ150mm、5層5プライ）で構成し、合計24枚のパネル同士は、矧目（はぎめ）は合板と釘で、継目（つぎめ）は平鋼とラグスクリューで接合し、見え隠れとなるパネル天端で一体化した。

地域に馴染む屋根形式でありながら、客席では小屋組みの無いすっきりした空間が体験でき、地域の伝統や技術に触れられる場ともなっている。

施主	真庭市
設計	株式会社STUDIO YY
施工	株式会社森本組
主要構造	木造（CLTパネル工法、一部鉄骨）
延床面積	271.64㎡
主な使用樹種	スギ、ヒノキ



審査委員会特別賞

〈優良施設部門〉

津山信用金庫二宮支店（岡山県津山市）



【施設概要】

津山信用金庫、院庄林業（株）、津山市の3者が地域材の安定供給の協力を行う協定を令和4年に締結。川上から川下まで携わる木材メーカーである院庄林業（株）が木材の調達・供給を担当するとともに、『木造パートナー』として計画段階より参画・サポートする体制を構築し、使用木材は全て岡山県産のヒノキである。

非住宅中規模建築物の構造材（通し柱・梁）として大断面集成材を使用したほか、階段の骨組み、踏板や手摺にもヒノキ積層材を使用するなど、木材資源の有効活用にもつなげている。



施主	津山信用金庫
設計	院庄林業株式会社、株式会社近藤組
施工	株式会社近藤組、院庄林業住宅株式会社
主要構造	木造軸組構法
延床面積	567.9㎡
主な使用樹種	ヒノキ

審査委員会特別賞

〈優良施設部門〉

enefil吉野よしの（鹿児島県鹿児島市）



【施設概要】

安定的な原木供給体制を構築し、持続可能な森林経営を行っている森林からの木材を使用することとして、構造体は全て鹿児島県産材を使用した。

木質ラーメン構造として大断面柱・梁材を活用し、木造でありながら大スパンの空間を実現。同時に室内の快適性向上として、調室断熱性能、温暖化の抑制などにも配慮している。

「環境配慮・環境負荷低減」を設計コンセプトとして掲げ、県産材利用、ZEB達成、地域の景観に馴染む外観、オフィスの利便性などを実現した。



施主	日本ガス株式会社
設計	トラス・アーキテクト株式会社
施工	日本ガス住設株式会社
主要構造	木造、木造ラーメン構造
延床面積	474.47㎡
主な使用樹種	スギ

農林水産大臣賞

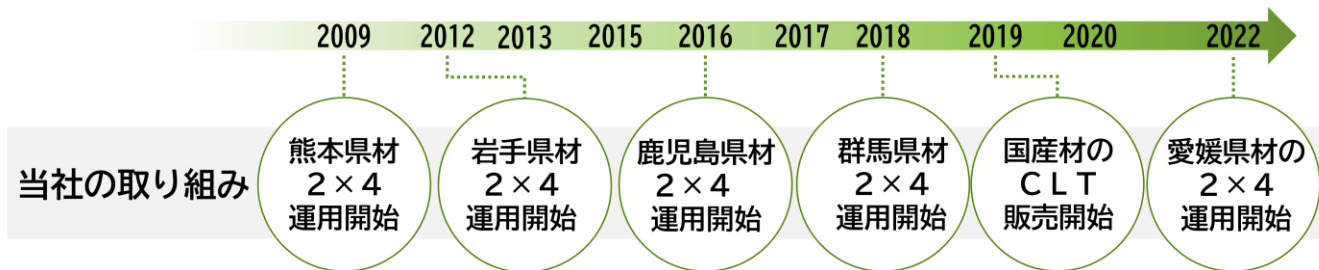
大東建託株式会社

〈国産材利用推進部門〉

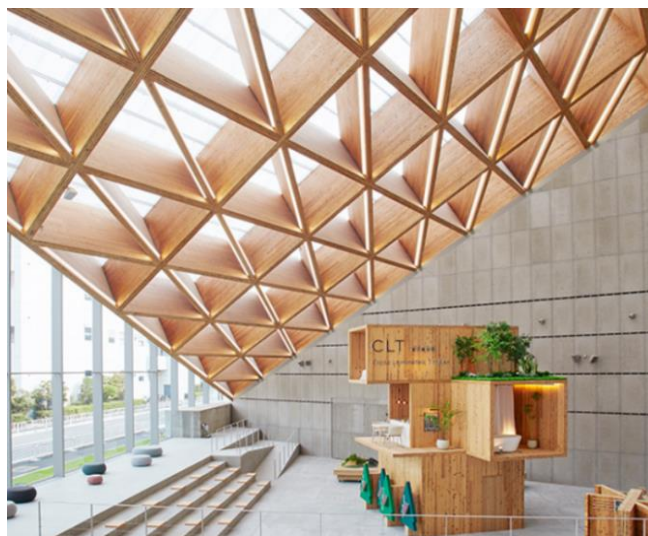
【取組概要】

主力の賃貸集合住宅に採用される枠組壁工法(2×4工法)のたて枠材を中心に、国産スギの導入に向けた取組みを全国各地で行っている。この先駆的な取組みは、国産2×4材の普及に大きく貢献した。また、国産材利用の見える化を推進するため、製品に「国産材マーク」を使用する取組みは多くの企業でも展開され、広く周知が進んでいる。

木材を供給する製材メーカーとは、情報連携により月単位の計画数量及び納品倉庫を取り決め、定量調達することで、安定的且つ持続的な木材供給体制を構築している。2023年には木材調達及び木材利用のガイドラインを改定し、サプライヤーの協力のもと、2030年までに持続可能な木材調達比率100%を目指すなど、様々な取組みで高く評価された。



〈国産スギ導入の来歴〉



〈ROOFLAG 賃貸住宅未来展示場〉



〈たて枠材の国産材マーク〉

事業者名	大東建託株式会社
所在地	東京都港区港南2-16-1
業種＜業態＞	住宅関係事業者＜川下＞
国産材利用量	約32,000m ³

林野庁長官賞

日本生命保険相互会社



〈建築物木材利用促進協定〉



〈ニッセイの森 育樹ボランティア〉



〈ZEB認証プレート〉

〈国産材利用推進部門〉

【取組概要】

生命保険業最大手の受賞者は、「気候変動」「生物多様性」「循環型社会」の3つの軸に沿って環境保護の取組みを積極的に推進している。

公益財団「ニッセイ緑の財団」を設立。全国209カ所で「ニッセイの森」を設置・整備し、森林づくりやボランティア活動等を展開している。

農林水産省・環境省と建築物木材利用促進協定を締結し、今後新築する営業拠点について令和13年3月末までの具体的な整備計画を策定。都道府県に1物件以上を木造で建築し、全国100物件、約4,800m³の木材を利用する。建築物は「ZEB Ready」を基本設計として、環境にも配慮される。この取組みをモデルケースとして、木材利用が一層推進していくことが期待される。

事業者名	日本生命保険相互会社
所在地	東京都千代田区丸の内1丁目6-6
業種＜業態＞	生命保険＜施主＞
国産材利用量	約248m ³

林野庁長官賞 ナイス株式会社



〈本社ビル内装〉



〈Gywood®テーブル用天板〉



〈国産材パッケージ〉

〈国産材利用推進部門〉

【取組概要】

川上から川下に至るサプライチェーンを生かした建築資材事業を展開している受賞者は、構造材への国産材利用の推進を目指し、特に横架材への国産スギ材採用に取り組んでいる。構造シミュレーション等により課題を解決し、構造材から羽柄材、内装材に至る住宅1棟分の国産材をセレクトしてパッケージ化した「国産材パッケージ」の提案を2021年より開始。安定した国産構造材の供給を可能にした。

また、ファブレスメーカー機能として木材加工業者等と連携し、大径化が進むスギを活用したオリジナル木材製品「Gywood®」等を開発・販売するなど、新しい市場開拓に取り組むとともに、国や自治体と木材利用に関する協定を締結し、木材利用を積極的に推進している。

事業者名	ナイス株式会社
所在地	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4丁目33番1号
業種＜業態＞	木材流通等＜川中＞
国産材利用量	約683,000m ³

木材利用推進中央協議会会長賞

秋田プライウッド株式会社



〈新設棟エントランス(超厚合板を使用)〉



〈アキプラの森 男鹿〉



〈少花粉スギコンテナ苗〉

〈国産材利用推進部門〉

【取組概要】

秋田県内に3工場を有し、秋田県スギ、北海道トドマツ、岩手県カラマツなど、全量国産材を使用する日本最大級の合板メーカーである受賞者は、大径材の利用促進や性能向上等のための設備投資を積極的に行い、地域材の利用拡大に取り組んでいる。

合板事業に加え、フローリング事業、プレカット事業、福祉事業等を手掛けており、中でも森林環境事業では、持続可能な森林経営を目指して、「アキプラの森」と名付けられた700haを超える社有林を保有し、苗木生産から植林、保育、素材生産、木材製品の製造・販売までを一貫して計画的に行っている。更には、当事業部を分離・独立させた新会社を設立し、森林環境事業の一層の拡大・拡充を計画している。

事業者名	秋田プライウッド株式会社
所在地	秋田県秋田市川尻町字大川反232
業種＜業態＞	合板等＜川中＞
国産材利用量	約498,000m ³

木材利用推進中央協議会会長賞

ニチハ株式会社

〈国産材利用推進部門〉

【取組概要】

セメントに国産スギ・ヒノキ材のチップを体積比で50%以上配合した外壁材『オフセットサイディング』を主力製品として製造、販売している受賞者は、建築物の構造材以外での国産材利用の拡大に貢献するとともに、当製品を通じて、CO2固定効果をエンドユーザーに発信し、国産材利用の意義を広く伝えている。また、環境省が支援する「グリーンライフポイント」推進事業にも採択されるなど、木材利用推進に向けた消費者マインドの成熟にも取り組んでいる。

企業版ふるさと納税制度を活用した再造林事業への支援や、再造林の推進協定を締結するなど、川上との関係強化に努めるとともに、様々なプロジェクトにも参画し、社会課題の解決に積極的に取り組んでいる。



〈オフセットサイディングの概要〉



〈オフセットサイディング 施工事例〉



〈グリーンライフポイントの取組み〉

事業者名	ニチハ株式会社
所在地	愛知県名古屋市中区錦二丁目18番19号 三井住友銀行名古屋ビル
業種＜業態＞	建材メーカー（外壁等）＜川中＞
国産材利用量	約210,000m ³

木材利用推進中央協議会会長賞 院庄林業株式会社

基金
42,556,485円
(2021年～2024年4月時点)

活用
35,571,371円

植林本数
44,440本

植林面積
14.7ha



〈植林活動の状況〉

〈受賞者が参画した津山信用金庫 二宮支店〉



〈植林クラウドファンディング〉



〈国産材利用推進部門〉

【取組概要】

製材や集成材、プレカット材の製造・販売から住宅建築、リフォーム、山林育成等、包括的に手掛けている受賞者は、外材が主流である中断面集成材用ラミナ(集成材を構成する小角材)を、国産ヒノキラミナで生産・販売することで、外材からの転換を推進している。平成4年には、JAS製材品普及推進展示会を通じて、林産部門で製材メーカー初となる天皇杯を受賞するなど、高品質な木材製品を長期に渡り供給し続けている。また、非住宅木造中規模建築物の推進のため、企画段階から「木材パートナー」として参画し、設計事務所等への支援を積極的に行っている。

植林基金の創設やクラウドファンディングにより支援を集めるなど、持続可能な森づくりにも势力的に取り組んでいる。

事業者名	院庄林業株式会社
所在地	岡山県津山市二宮22-1
業種＜業態＞	製材、集成材等＜川中＞
国産材利用量	約68,000m ³